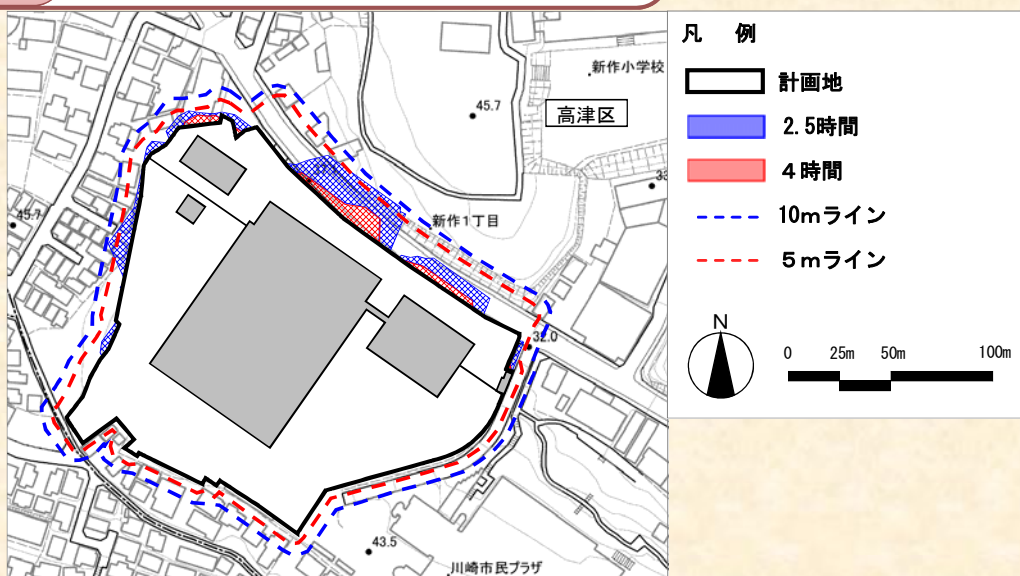


供用時 冬至日における日影となる時間数



[自主的な日影基準]

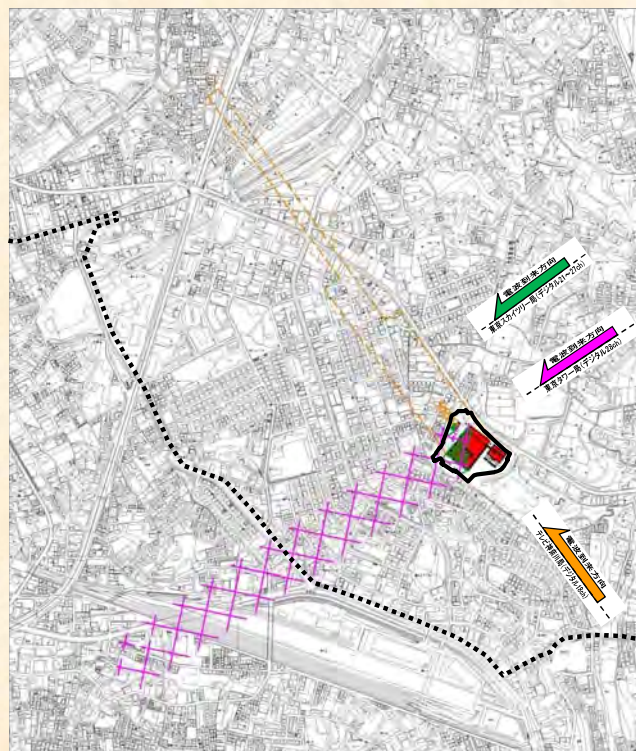
規制される時間		測定水平面高さ
5m~10m	10m~	
4時間	2.5時間	平均地盤面レベル

テレビ受信障害

供用時

- 計画建物の存在によるテレビ受信障害

供用時 地上デジタル波



計画施設の規模や位置は、
既存施設とほぼ同じ。

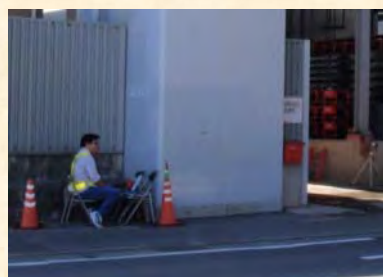
凡	例
	計画地
	区境
	遮へい障害地域（東京スカイツリー広域）
	遮へい障害要確認範囲（東京スカイツリー広域）
	反射障害地域（東京スカイツリー広域）
	遮へい障害地域（東京タワー）
	反射障害地域（東京タワー）
	遮へい障害地域（テレビ神奈川）
	遮へい障害要確認範囲（テレビ神奈川）



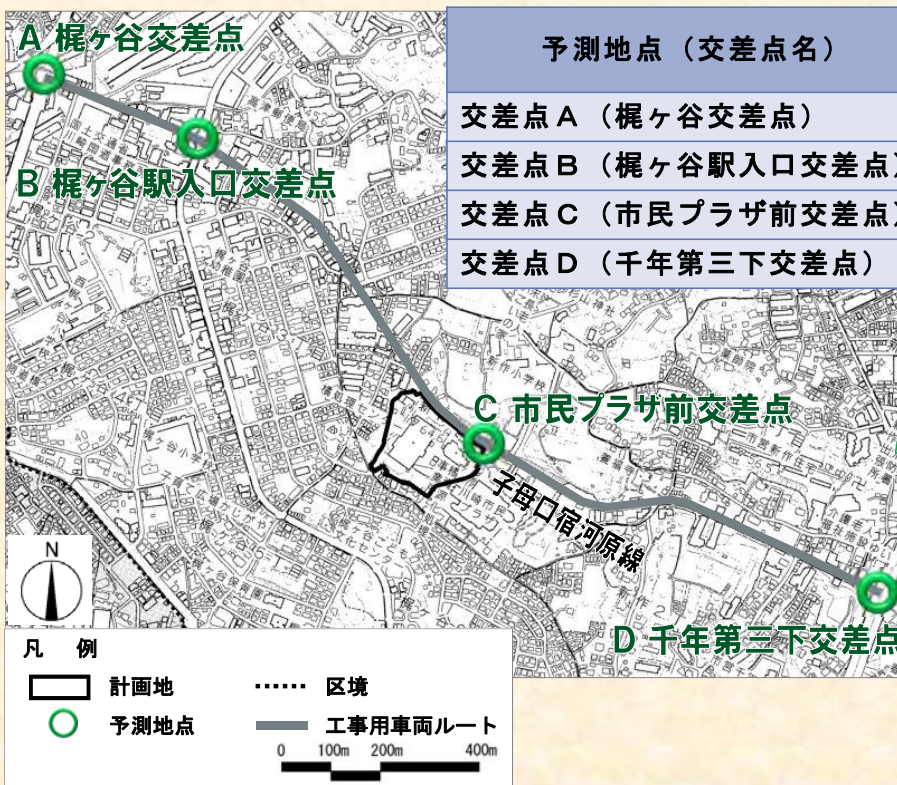
地域交通

工事中

- 工事用車両の走行に係る交通流への影響
- 工事用車両の走行に係る交通安全への影響



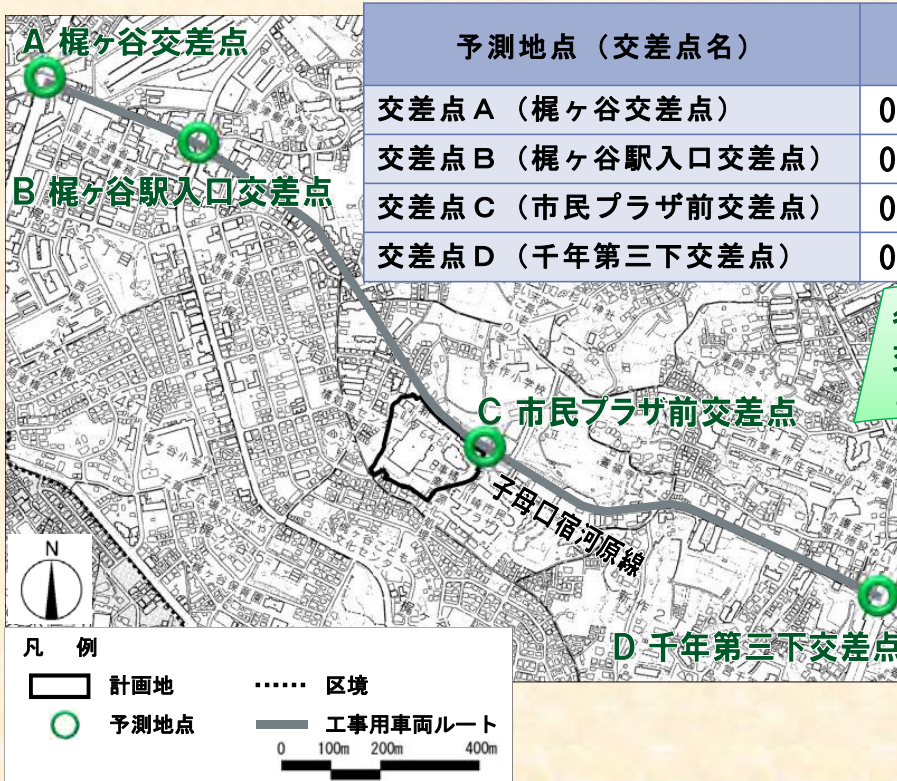
工事中 工事用車両の走行に係る交通流への影響



予測地点（交差点名）	予測結果	環境保全目標
交差点A（梶ヶ谷交差点）	0.714	交差点 需要率 0.9以下
交差点B（梶ヶ谷駅入口交差点）	0.614	
交差点C（市民プラザ前交差点）	0.326	
交差点D（千年第三下交差点）	0.600	

各交差点で、円滑な交通処理が可能と予測します。

工事中 工事用車両の走行に係る交通流への影響



予測地点（交差点名）	混雑度	環境保全目標
交差点A（梶ヶ谷交差点）	0.497～0.886	混雑度 1.0以下
交差点B（梶ヶ谷駅入口交差点）	0.445～0.716	
交差点C（市民プラザ前交差点）	0.103～0.557	
交差点D（千年第三下交差点）	0.159～0.886	

各交差点で、円滑な交通処理が可能であると予測します。

工事中 工事用車両の走行に係る交通安全への影響

工事用車両の主要な走行ルートである市民プラザ通りは、歩車分離されている。



予測結果

- ✓ 工事用車両が走行した場合でも安全に通行することが可能

環境保全のための措置

- ・ 工事用車両が集中しないよう、工程管理や配車の計画を行う。
- ・ 出入口等に交通整理員を配置する。

など

歴史的文化的遺産

工事中




- 工事に伴う土地の改変、建築物等の建設に伴う文化財等及び埋蔵文化財包蔵地への影響

工事中

工事に伴う土地の改変、建築物等の建設に伴う文化財等及び埋蔵文化財包蔵地への影響



凡例

-  計画地
-  埋蔵文化財包蔵地
-  県史跡



0 30m 60m 120m

予測結果

本事業の実施に伴う埋蔵文化財等への影響は少ないものと予測します。

安全

供用時

- 危険物等に係る安全性の確保

供用時 危険物等に係る安全性の確保

既存の橋処理センターでは、危険物等の取り扱いにおいて関係法令に基づき、使用・管理について安全対策を講じ、適切な防災体制を確立。



予測結果

計画施設においても、同等の対策を講じる計画であることから、事故防止及び安全管理が確保されるものと予測します。

環境保全のための措置

- ・ 安全確保のための組織体制を維持するとともに、職員に対する教育・訓練を徹底する。
- ・ 緊急時の対応など、ISO14001に適合した環境マネジメントシステムを構築し、運用する。

温室効果ガス

供用時

- 施設の稼動に伴う温室効果ガス等による影響

供用時 施設の稼動に伴う温室効果ガスによる影響

温室効果ガスの 排出量 ①	温室効果ガスの 削減量 ②	削減の程度 ②/①×100%
61,968.9 t-CO ₂ /年	40,212.3 t-CO ₂ /年	64.9%

ごみの焼却など
による排出

廃熱を利用した高効率発電

- 購入電力を抑制
- 売電により電力会社の発電量を抑制

平成25年度実績 7,222 MWh/年 → 建替後 約77,000 MWh/年

排出量の
64.9%相当を削減

- ・川崎市民プラザに
現在と同等量の蒸気を供給



- ・太陽光発電等の再生可能
エネルギーの活用や、
バイナリー発電などを行う。



条例環境影響評価準備書について

5. 事後調査計画

75/80 事後調査計画（工事中・供用時）

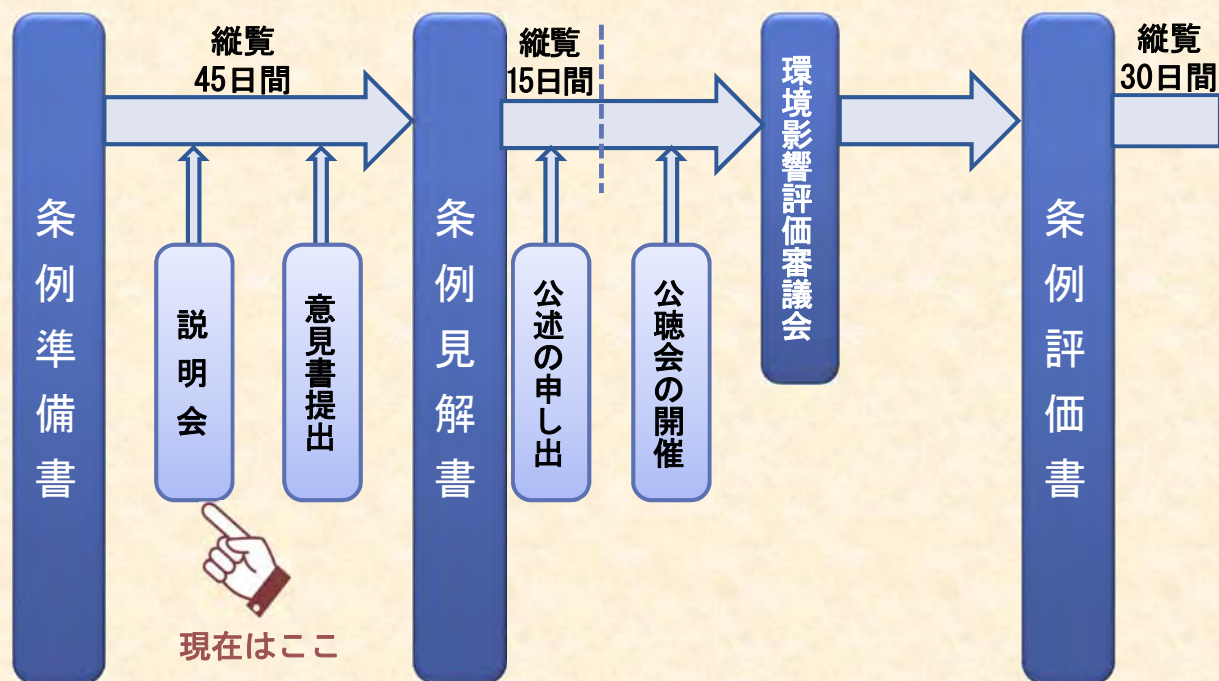
準備書
P538

項目	環境影響要因	調査項目	調査時期	調査回数	調査位置
大気質	排ガスの排出	二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素、水銀、ダイオキシン類、風向・風速の状況	【供用時】 ごみ処理施設の稼働状況が代表的と考えられる時期	大気汚染物質の濃度が高くなる傾向のある冬季に1回 7日間連続	最大付加濃度付近の1地点
土壌汚染	建設工事等の影響	土壌汚染の有無、汚染土の処理・処分の状況	【工事中】 土壌汚染に係る調査及び対策等を行う時期	1回	計画地内
緑の質	緑の回復育成	樹木活力度 樹木等の維持管理状況	【供用時】 供用開始後から概ね3年後	1回	計画地内
産業廃棄物	建設工事等の影響	産業廃棄物の種類、発生量及び処理・処分方法	【工事中】 産業廃棄物が発生する解体工事、建築工事等の工事期間全体	1回	計画地内

条例環境影響評価準備書について

6. 今後の手続き

準備書から評価書まで



○準備書の縦覧方法

- 期 間：平成27年6月15日（月）～7月29日（水）
- 場 所：・川崎市役所第3庁舎（環境局環境評価室）
・高津区役所
・高津区役所橘出張所
・宮前区役所
・中原区役所

○インターネットによる電子縦覧

URL

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-2-1-2-0-0-0-0-0-0.html>

○意見書の提出

提出期限：平成27年7月29日（水）

提出先：〒210-8577

川崎市川崎区宮本町1番地

川崎市 環境局 環境評価室

電話：044-200-2156

提出方法：持参、郵送

※郵送の場合は、7月29日消印有効

御清聴ありがとうございました。



■ 建替えに関する問い合わせ先

川崎市 環境局 施設部 施設建設課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-2554

Email：30siseke@city.kawasaki.jp

■ 「橋処理センター整備事業」ホームページ

URL：http://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/43-3-9-0-0-0-0-0-0-0.html